



野原先生・中島先生の新生活

New Lifves of Dr. Nohara & Dr. Nakajima -Magazin編集部が突撃取材!!-

-Editorial staffs interviewed!

text_yasukawa

この4月から、それぞれ新天地で生活をスタートさせたお二人。いったいどのような環境で日々過ごされているのでしょうか？マガジン編集部が新生活の実態を突撃取材してきました！！

Dr. Nohara & Dr. Nakajima has started new Lives in their new campuses. How do they spend their new school lives ? We interviewed them!!

Y.N.U. Associate Prof. Nohara

S.F.C. Assistant Prof. Nakajima

健康的な新生活！



都市が見えない…！



▲ 野原先生と院生の皆さん



▲ 笑顔の野原先生



▲ SFC 鴨池前にて記念撮影



▲ 都市を指差す中島先生

text_maekawa

text_abe

5月25日(火) マガジン編集部4名で、横浜国立大学での野原先生の新生活を取材してきました。急な坂道とずらっと並ぶバイクが印象的なキャンパスで、久しぶりに再会した先生は変わらぬ笑顔で迎えてくれました。なんだか以前より健康そう？と思ったらなんと、横浜市内のご自宅から毎朝自転車通勤をしているそう。あの急な坂を…！

現在の研究室にはデザ研のPJのようなものはなく、学生とあまり顔を合わさない時もあるそうですが、M1との修論ゼミを開催するなどしているとのこと。そこで院生室にお邪魔して学生の皆さんに野原先生のことを伺うと、京浜工業地帯ツアーに行った話のほか、「ボーリングが66点(笑)」などのエピソードも飛び出し、変わらず学生に慕われている様子の野原先生でした。

バスに乗り間違えるというまさかのハプニングにより、1時間という短い取材になってしまいましたが、お元気そうな野原先生にお会い出来て嬉しかったです！野原先生、ありがとうございました！

5月28日(金) 慶應義塾大学 SFC の中島直人先生の研究室を訪れました。オフィスは5階にあり、竹中平蔵氏と浅野史郎氏の間という著名な方々に挟まれた部屋でした。現在は他の先生と2人共同で使っており、かつての繁茂し過ぎた知の森のような状況はかるうじて免れていました。眺めは良いのですが、都市が見えないこと、網戸がないため虫や鳩が闖入することがご不満なようでした。

現在、講義は「まちづくり論」、「修士論文の書き方」、「研究会(学部生のゼミ)」を担当しており、他に卒論生も2名付いたそうです。朝は「ゲゲゲの女房」を時計代わりに、原付で通学。1年目なので講義の準備等に忙しく、また夜は週3程度で東京に来る用事があり、移動が大変なため、生活時間はかつてと変わらないとのことでした。

現在研究会で浅草や湘南台周辺を対象としてゼミを行っていますが、今後は鞆PJにも学生を連れて行きたいとのことでした。今後の研究室の発展が楽しみです！中島先生、ありがとうございました！！



番外編 湘南台文化センター

text_yasukawa

中島先生を訪問した帰り、先生のすすめで湘南台駅近くにある湘南台文化センターに立ち寄りしました。が、行ってみてびっくり！そのメルヘンな世界に圧倒されました。中には入らなかったのですが、外から

眺め、2つの球とそこから流れる曲線、三角の棟たちのストーリーをみんなで創造しながら楽しみました。水が流れていなかったのが残念！皆さんも是非一度どうぞ。長谷川逸子さん 1990年の作品です。



▲ 湘南台文化センター こども館

日本全国 OB・OG めぐり 第6弾！

Lab's OB,OG Tour all over Japan vol.6！

今回は大林組でご活躍中の千葉孝之さん（平成4年修了）です！

This time is Mr.Takayuki Chiba who works in Obayashi corporation

私は現在、大林組開発事業本部で大規模開発の企画、推進を担当しています。過去には顧客の事業企画や具体化を手伝い工事受注につながる仕事が多かったのですが、3年程前から自ら事業主として取り組む案件も増えています。ゼネコンの開発部門では、建築、都市計画、環境等にとどまらず、ファイナンスや税制、施設の管理運営まで幅広く関わることとなります。様々な技術をバックボーンとして不動産事業を企画から運用段階までトータルで検討できるのが強みであり、社内外の多くの人々と力を合わせてモノづくり、まちづくりを具体化し

ていくのが楽しみでもあります。私自身はこれまで、汐留にある電通新社屋の地区計画手続き、浦和駅東口駅前再開発での実質的な事業主としてさいたま市との協議、八王子駅南口再開発での施設企画などに携わりました。この4月からは大阪に異動となり、中之島にある大林組所有地の開発を担当しています。大阪都心の南北軸である御堂筋に対して、東西軸として発展していく中之島周辺のまちづくりのなかで、どのように開発を進めていこうか日々アタマを悩ませているところです。



▲千葉孝之さん

千葉孝之さん（大阪府）



▲現在担当されている大阪府中之島

国際設計演習 四川訪問！

International studio visiting Sichuan

5月末に四川でのWSに参加した国際設計演習チームの四川訪問記です！

M1 矢吹 剣一



▲四合院の調査



▲作業中の様子

4月より続けてきたGCOE国際設計演習の現地ワークショップが5月23日～30日の8日間、中国四川省都江堰市にて行われました。本郷の都市デザイン研究室からはM1李璠、李峰浩、矢吹、柏の空間計画研究室からはM2金、小島が参加しました。

連日のフィールド調査、班ごとのディスカッション、深夜まで及ぶ作業を経て、28日の国際シンポジウムで無事国の西南交通大学の方々や、日頃授業でしか会わない国際色豊かなメンバーと濃密な時間を過ごす事ができ、絆が深まった気がします。

個人的には調査中、四合院の庭で転ぶという貴重な体験が出来ました。今後も続くのでまだまだ頑張ります！

プロジェクト報告

足助 ASUKE-project プロジェクト

同じく5月末に足助を訪問した足助チームに近況を報告してもらいます！

text_shibao



▲熱心に説明するM2山下



▲田口邸での報告会の様子

足助PJでは、本年度初の現地訪問を行い、ヒアリングを中心とした調査、田口邸をお借りしての報告会を行って来ました。報告会は、最近改装されたという田口邸の気持ちのよい土間をお借りして行い、観光客や住民の方々とは有意義な意見交換を行うことが出来ました。また、ヒアリングを通して町並みや、町を囲む山城や川の歴史を知った後の足助は不思議と趣深く感じられ、眺望を創出する要素は目に見えるものだけではないということを感じました。余談ですが、足助の住民の方々は気さくかつ親切な方が多く、ヒアリング中ももてなして頂き大感謝大感激の足助メンバーズでした。今後も、住民の方々の厚いご指導ご鞭撻を頂きつつ、それに負けない真剣さで足助のまちについて考えていきたいです。

H22年度入試でまちづくりに注目！

Entering exam focussing on machi-dukuri！



◀「観光まちづくり」(学芸出版社、2009) text_abe
今年度の大学入試で「まちづくり」に関する問題が出題されました。和歌山大学観光学部の小論文試験では西村幸夫編著「観光まちづくり まち自慢からはじまる地域マネジメント」の2章2節(野原先生の文章)が問題文に、名古屋市立大学芸術工学部建築都市デザイン学科の小論文試験では柄の浦裁判が題材に採り上げられました。

Information

6月の予定

- 6月19～20日 浅草PJ「月光工房」@千束・入谷地区 田村PJ現地調査
- 6月25日 2010年度第4回研究室会議 新4年生歓迎コンパ@明窓

編集後記

安川 千歌子

冒頭の企画の新研究室突撃取材で野原さんと中島さんに久しぶりの再会。野原さんに詳しく教えてもらったにも関わらず横国行きのバスを間違えるというハプニングも巻き起こりましたが(すみません…)とても楽しい取材でした！また行きたいです。